

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	高齢者等市内移動支援バス事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	04	4節	誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	高齢者支援課			
施策	4-2	高齢者や障害者がいきいき暮らせる社会づくり		主管課長	石井 由美子			

事務事業の目的・内容

事業目的	対象	65歳以上の交通弱者	意図	高齢者の移動手段を拡充することで高齢者の積極的な社会参加を促進する
事業内容	市内の事業所等の協力のもと送迎バスの空席を活用し高齢者の活動範囲の拡大を支援する。高齢者の積極的な社会参加を促進するとともに、高齢者の交通事故の抑制及びCO2排出量削減を図る。このため、利用者の搭乗中の傷害保険を負担するもの。			
事業開始から現在までの状況変化	TXの開業に伴って民間バスの路線再編等が行われたが、路線バスが運行されない地域の高齢者の市内各施設への移動手段の確保と、閉じこもり予防等を目的とし、平成19年度から事業者の送迎バスの空席を利用して実施している。また、民営のバス、タクシーの利用への影響等について、適宜、事業者との協議を行っている。			

事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	協力民間事業者数		4	5	5	団体	
	新規利用登録者数	165	521	357	人		
	利用件数	8,569	6,548	4,295	人		
指標で表すことができない定性的な成果	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）						協力民間事業者が1団体増え、5団体となった。引き続き民間事業者に協力を求め、高齢者の社会参加の促進に努める。
事務事業のコスト		平成27年度	平成28年度	平成29年度	協力民間事業者 ・流山中央病院 ・千葉愛友会記念病院 ・江陽台病院 ・おおたかの森病院 ・東葛病院		
事務事業の総コスト(a=b+c)		650,660	792,724	874,778			
事業費(b)(円)		424,760	586,774	673,418			
うち一般財源		424,760	586,774	673,418			
職員給与費(c)(円)		225,900	205,950	201,360			
人役・職員(人)		0.03	0.03	0.03			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 < 主管課長記入 >

事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	継続（事業を現状どおり継続すべき）					

事務事業の業務改善について

今年度(H29)の改善計画	利便性を向上させるため、新たなルートの開設に努める。	取組の課題	ルートを増やしたが、利用者は年々減少している。
今年度(H29)に実施した取組	流山中央病院の協力で、6月から1ルートを開設し、5病院、市内8ルートで実施した。	今後の改善計画	ルート拡大等引き続き民間事業者の協力を求めていく。